

2019年12月23日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ
代表者名 代表取締役グループCEO 菊川 暁
(JASDAQ・コード4777)
問合せ先 グループ戦略部 部長
ジョーシ ガブリエレ
(TEL 03-5778-0321)

第三者割当による新株式の発行及び第5回新株予約権により調達した資金の 使途及び支出時期の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、第三者割当による新株式の発行及び第5回新株予約権（本新株予約権）により調達した資金の使途及び支出時期の変更を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当該第三者割当増資の詳細につきましては、2019年5月31日付で公表いたしました「第三者割当により発行される株式及び第5回新株予約権の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

記

1. 変更理由

当社は、本日別途公表いたしました「スマートフォンゲームアプリ「Rappelz Mobile（ラペルズモバイル）」リリース遅延についてのお知らせとお詫び」のとおり、2020年3月期第3四半期に予定していたスマートフォンゲームアプリ「Rappelz Mobile（ラペルズモバイル）」のサービス提供開始の遅延が生じている状況でございます。これは、CBT（クローズベータテスト）にてユーザーの皆様から多数のご要望や改善点を頂戴し、より完成度が高い状況でユーザーの皆様楽しんでいただけるゲームにするため、新規追加開発や改善を行い開発期間が長期化したことや現地パブリッシャーとのリリース日程の調整の結果によるものであります。現在、東南アジアでのサービス開始予定を2020年3月期第4四半期、グローバル地域でのサービス開始予定を2021年3月期第1四半期としてリリース準備を進めております。

一方、当社は、2019年5月31日に公表いたしました「GPM Co.,Ltd.（韓国）との業務提携についてのお知らせ」のとおり、2019年5月31日開催の取締役会において、VR事業における新規事業展開による収益基盤の構築を図ることを目的として、GPM Co.,Ltd.（本社：韓国仁川、代表取締役 Park Sung Jun）との間でVR事業に係る業務提携契約を締結し、VR事業の専任人材を起用するなど営業活動を推進しております。しかし、VR事業は、事例がないモデルであるため、判断が慎重になった影響もあり当初の想定より事業展開が遅れており、VRテーマパーク事業については、現状具体的な案件が進んでいない状況となっております。

資金調達については、2019年6月27日の新株式発行により193百万円（発行諸費用概算額控除後の手取概算額）を調達し86百万円を充当しているものの、本新株予約権については発行後、行使が行われていない状況が続いておりました。このような状況の中、本日付で本新株予約権3,817個（普通株式381,700株）の行使が行われ100百万円の資金が調達されましたが、当該資金の使途について、当初予定していた「VRテーマパークの共同出資資金」から、「Rappelz Mobile（ラペルズモバイル）」のリリースまでの人件費等の運転資金に変更することといたしました。「Rappelz Mobile（ラペルズモバイル）」については、上記のとおり開発期間の長期化によりリリースまでの人件費等の増額が見込まれ、更なる運転資金が必要と判断いたしました。また、支出予定時期は、グローバル地域でのサービス開始までの2020年6月までを予定しております。一方、「VRテーマパークの共同出資資金」については、今後共同出資者と出資を行う場合、共同出資者との

契約において出資割合の調整による当社の出資額を減額することが可能であり、現状具体的な案件が進んでいない以上、現時点で必要な運転資金に充当すべきとの判断から充当予定金額を減額いたしました。

また、VR 事業について上記のとおり事業展開が当初の想定より遅れていることから、VR コンテンツ等開発資金及びマーケティング活動資金の支出予定時期を当初の 2020 年 3 月までから 2021 年 3 月までに延長いたしました。

2. 変更の内容

資金使途及び支出時期の変更内容は以下のとおりであります。変更箇所には下線を付しております。

(変更前) (2019 年 5 月 31 日)

本新株式

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
①スマートフォンアプリ事業 ・ 配信中のアプリの運用に係る人件費やサーバー費用等の運転資金 ・ 「Rappelz Mobile (ラペルズモバイル)」のリリースまでの人件費等の運転資金	30 31	2019 年 7 月～ 2019 年 8 月
②アマゾン ウェブ サービス (AWS) 関連事業 ・ 人材の採用・育成等にかかる人件費の初期投資資金 ・ マーケティング活動資金	70 30	2019 年 7 月～ 2021 年 3 月
③VR 事業 ・ VR コンテンツ等開発資金 ・ マーケティング活動資金	10 22	2019 年 7 月～ <u>2020 年 3 月</u>

本新株予約権

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
③VR 事業 ・ VR テーマパークの共同出資資金	<u>300</u>	<u>2019 年 7 月～</u> 2021 年 6 月

(変更後) (2019 年 12 月 20 日)

本新株式

具体的な使途	金額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出(予定)時期
①スマートフォンアプリ事業 ・ 配信中のアプリの運用に係る人件費やサーバー費用等の運転資金 ・ 「Rappelz Mobile (ラペルズモバイル)」のリリースまでの人件費等の運転資金	30 31	<u>30</u> <u>31</u>	2019 年 7 月～ 2019 年 8 月
②アマゾン ウェブ サービス (AWS) 関連事業 ・ 人材の採用・育成等にかかる人件費の初期投資資金 ・ マーケティング活動資金	70 30	<u>18</u> <u>—</u>	2019 年 7 月～ 2021 年 3 月
③VR 事業 ・ VR コンテンツ等開発資金 ・ マーケティング活動資金	10 22	<u>7</u> <u>—</u>	2019 年 7 月～ <u>2021 年 3 月</u>

本新株予約権

具体的な使途	金額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出予定時期
①スマートフォンアプリ事業 ・「Rappelz Mobile (ラペルズモバイル)」のリリース までの人件費等の運転資金	100	—	2020年1月～ 2020年6月
③VR事業 ・VRテーマパークの共同出資資金	200	—	2020年1月～ 2021年6月

3. 今後の見直し

当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であります。さらに、新規事業であるクラウド事業及びVR事業については、当該事業を取り巻く環境の変化等により損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただきます。

以上